

報 道 資 料

年月日 平成24年8月8日(水)
 担当課 学校教育課
 担当者 義務教育係 樺本 剛也
 TEL 直通 0742-27-9854
 内線 5263

(タイトル)

平成24年度全国学力・学習状況調査の調査結果の概要について

(趣 旨)

平成24年4月17日(火)に実施された全国学力・学習状況調査における抽出対象校の調査結果が届けられた。この結果の概要と今後の県の対応について、お知らせする。

1 調査の概要

○平成24年4月17日(火)実施

○調査内容

- ・小学校第6学年、中学校第3学年の児童生徒を対象。
- ・教科に関する調査(国語、算数・数学、理科)
 - 主として「知識」に関する問題
 - 主として「活用」に関する問題
 - ・国語A、算数・数学A：主として「知識」に関する問題を中心とした出題
 - ・国語B、算数・数学B：主として「活用」に関する問題を中心とした出題
 - ・理科：主として「知識」に関する問題と主として「活用」に関する問題を一体的に出題
- ・生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

○参加状況(抽出対象校)

- ・全国で抽出対象校として公立小学校5140校(24.7%)、公立中学校4296校(43.1%)が参加。
- ・本県では、抽出対象校として公立小学校94校(45.6%)、公立中学校67校(64.4%)が参加。

2 結果にかかわって

教科に関する調査について

- 上段：公立学校の平均正答数
- 中段：平均正答率の95%信頼区間(%)
- 下段：平均正答率(%) (上段を百分率で示したもの)

	国語A				国語B			
	平成24年度		平成22年度		平成24年度		平成22年度	
	全国	奈良県	全国	奈良県	全国	奈良県	全国	奈良県
小学校	13.9/17	14.0/17	12.5/15	12.6/15	6.1/11	6.3/11	7.8/10	7.9/10
	81.4-81.7	81.9-83.3	83.2-83.5	83.3-84.8	55.4-55.8	55.8-58.0	77.7-78.0	77.9-79.9
	81.8	82.4	83.3	84.0	55.5	57.3	78.0	79.0
中学校	24.0/32	24.5/32	26.3/35	26.5/35	5.7/9	5.7/9	6.5/10	6.5/10
	75.0-75.2	75.9-77.5	75.0-75.2	75.1-76.2	63.2-63.4	62.0-63.8	65.1-65.5	64.3-65.7
	75.0	76.6	75.1	75.7	63.3	63.3	65.0	65.0

	算数・数学A				算数・数学B			
	平成24年度		平成22年度		平成24年度		平成22年度	
	全国	奈良県	全国	奈良県	全国	奈良県	全国	奈良県
小学校	13.9/19	14.3/19	14.1/19	14.2/19	7.7/13	7.8/13	5.9/12	6.0/12
	73.1-73.5	74.6-76.4	74.0-74.4	73.8-75.8	58.7-59.1	58.9-61.1	49.1-49.5	49.1-51.1
	73.2	75.3	74.2	74.7	59.2	60.0	49.2	50.0
中学校	22.4/36	22.9/36	23.3/36	24.1/36	7.4/15	7.6/15	6.1/14	6.3/14
	62.0-62.3	62.3-64.7	64.4-64.8	65.9-67.8	49.2-49.5	49.0-51.8	43.1-43.5	44.3-45.4
	62.2	63.6	64.7	66.9	49.3	50.7	43.6	45.0

	理 科	
	平成24年度	
	全国	奈良県
小学校	14.6/24	14.8/24
	60.8-61.1 60.8	60.8-62.6 61.7
中学校	13.3/26	13.3/26
	50.9-51.1 51.2	50.2-52.0 51.2

本県は、主として「知識」に関する問題（問題A）では、全ての調査において全国平均正答率を0.6～2.1上回っている。主として「活用」に関する問題（問題B）については、中学校国語で全国平均正答率と同じであるが、それ以外については全国平均正答率を0.8～1.8上回っている。

また、本年度初めて実施された理科について、小学校では、全国平均正答率を0.9上回り、中学校では、全国平均正答率と同じである。

3 質問紙調査について

文部科学省によると、全国的には、以下のような傾向が見られると分析している。

児童生徒質問紙調査

- ・理科の勉強が好きな小学生・中学生の割合は国語、算数・数学に比べて高いが、「理科の勉強は大切」「理科の勉強で学習したことは将来社会に出たときに役立つ」と回答した小学生・中学生の割合は国語、算数・数学に比べて低い。

学校質問紙調査

- ・理科の観察・実験に関する質問について、以下の取組を前年度に行った小学校・中学校の方が、理科の平均正答率が高い傾向が見られる。
 - ・自ら考えた仮説をもとに観察・実験の計画を立てさせる指導
 - ・観察や実験の結果を整理し考察する指導
 - ・観察や実験の際のノート等への記録・記述の方法の指導
- ・自然の中で集団宿泊活動を長い日数行った小学校の方が、国語B、算数Bの平均正答率が高い傾向が見られる。

4 今後の本県での取組

- ・学力向上実践研究推進協議会（委員長 重松敬一 奈良教育大学教授 他8人）を7月に設置。
- ・同協議会で全国学力・学習状況調査の調査結果の分析を行い、「学校改善支援プラン」追補版を作成予定。
- ・分析結果や「学校改善支援プラン」追補版等については、今年度中に研修会を開催し、周知を図る予定。